

# 新たな学校のあり方

# 令和5年度モデル学校群の主な取組（中間まとめ）



	主な取組（〔 〕内は学校群名）	成果	課題及び改善策
授業の改善	児童生徒自身が、自分に合ったペースや方法で学ぶ「単元内自由進度学習」を実施〔五箇荘〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の進度に合わせた「<b>個別最適な学び</b>」を<b>実践</b></li> <li>群内の教職員の協働により、<b>教材作成に係る時間を縮減</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「<b>新たな授業形態</b>」を実施する教員の指導力向上 →教材研究の段階から協働して取り組む</li> </ul>
	対面及びオンラインを活用して群内小学校同士による単元を通じた合同授業（国際理解教育）を実施〔陵西〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、学級の壁を越え、多様な考え方に触れる「<b>協働的な学び</b>」を<b>実践</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な交流場面の設定 →対面やオンラインそれぞれの有用性を意識した計画</li> </ul>
カリキュラムの改善	系統性、連続性を意識した中学校教員による小学校外国語科授業を実施〔若松台〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い統一した授業による<b>英語力の向上</b>、小中学校の<b>段差の緩和</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校間の移動回数の削減 →時程の統一、時間割編成を工夫</li> </ul>
	総合的な学習の時間を中心とした小中一貫カリキュラムを作成〔旭〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年間で児童生徒を育む意識や<b>系統性を意識した授業の重要性を共有</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の打合せ時間の確保 →Teamsを活用することで、移動時間を削減</li> </ul>
マネジメント 学校群	学校群検討体制として月1回「学校群の日」を設定し専門部会や学年会を開催〔若松台〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組検討<b>体制を構築</b></li> <li>学校群に対する<b>教職員の意識向上</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討に係る教職員負担軽減 →各校での会議と学校群単位の会議を整理、統合</li> </ul>
	群内の学校を巡回しながら不登校支援、学習支援を実施〔旭、三原台〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒の<b>学びの機会や居場所の確保</b></li> <li>群内での<b>情報共有の活性化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒個々の状況に合わせた柔軟な対応 →対応できる指導体制構築</li> </ul>

# 令和6年度モデル学校群での取組検討状況

○ 5つのモデル学校群に加え、令和6年度からは新たに3つのモデル学校群を選定

開始年度	学校群 (中学校区)	構成する学校	区
令和5年度 ↳	陵西学校群	陵西中学校、少林寺小学校、安井小学校、大仙西小学校	堺区
	旭学校群	旭中学校、神石小学校、大仙小学校	堺区
	若松台学校群	若松台中学校、上神谷小学校、若松台小学校、茶山台小学校	南区
	三原台学校群	三原台中学校、三原台小学校、泉北高倉小学校	南区
	五箇荘学校群	五箇荘中学校、五箇荘小学校、五箇荘東小学校、新浅香山小学校	北区
令和6年度 ↳	月州学校群	月州中学校、三宝小学校、錦西小学校、市小学校	堺区
	八田荘学校群	八田荘中学校、八田荘小学校、八田荘西小学校	中区
	赤坂台学校群	赤坂台中学校、赤坂台小学校、新檜尾台小学校	南区

○ 令和6年度モデル学校群で新たに検討している取組（予定）

- ・群内小学校による合同宿泊学習、校外学習の実施
- ・総合的な学習の時間、保健体育科における学校群カリキュラムの作成、実施
- ・9年間を見通した情報活用能力の育成に向けた授業の改善 等

# スケジュール

